

2017年2月19日

開催日時：2017年2月19日(日)15:00-17:00 (14:30 受付)

開催場所：天性寺（京都市中京区寺町通三条上ル）

議案：

第1号議案：事業報告及び決算報告について

第2号議案：会員制度改正について

第3号議案：事業計画及び予算について

第4号議案：役員を選出について

同封資料（議案及び資料）

1. 第1号議案：事業報告、決算報告、決算書、
2. 第2号議案：会員制度改正提案
3. 第3号議案：事業計画、予算案
4. 第4号議案：役員投票用紙、2017年度役員候補一覧
5. その他：NPO組織概要図、正会員名簿、役員名簿、定款、番組表

総会には、本議案および資料をご持参ください。

<総会あとの懇親会のご案内>

2017年2月19日(日) 18:00 -20:00 (ラジオカフェ店舗) 17:30 (受付)

 <第 1 号議案>事業報告

■ NPO 組織活動

1. 正会員 99 人 (2016 年 12 月 31 日現在 正会員名簿参照)
入会 2016 年度 1 人 (15 年末退会数 3 人)
2. 2016 年度事業
 - (1) 新局 (舞鶴・北区) 設立に向けた支援事業を実施してきました。
「FM まいづる」(一般財団法人有本積善社) / 4 月 18 日開局、
「RADIO MIX KYOTO」(特定非営利活動法人コミュニティラジオ京都) / 5 月 22 日開局
 - (2) 2015 年度総会決議に基づく上記新局支援事業と合わせ、更に発展的にすすめるため、
上記新局との 3 局ネットワークの創設を目指してきました。
3 局代表者会議を行い、ネットワークの名称を「コミュニティ放送アライアンス京都
(略称: CBAK)」に決定した。併せて協定内容および調印式を検討中。
<3 局ネットワークによる局制作番組>
◎「RADIO MIX KYOTO」開局プレ番組 毎週 30 分 留学生番組 / 大学生番組
→現在レギュラー番組「RADIO MIX KYOTO」として、継続 3 局で放送。
◎「FM まいづる」プレ番組毎週 30 分 (FM 舞鶴研究会 / 龍谷大学) ※舞鶴赤れんが倉庫～生中継
→現在レギュラー番組「舞鶴赤れんがラジオ」として、継続し、3 局で放送。
<3 局ネットワークによる単発番組>
◎京都府広報課採択番組として単発放送
京都三条ラジオカフェ (7 月放送) 30 分×1 本
番組名: 祇園祭ウォーク 2016「鈴鹿山」編
「鈴鹿山」に密着して祇園祭の魅力を祭を支える地域の方にインタビュー。
ラジオカフェでは生中継 2 回行いました
※7 月 2 日～30 日 (3 分祇園祭一口メモ) はラジオカフェのみでの放送。
FM まいづる (9 月放送) 30 分×1 本
番組名: 旧軍港四市日本遺産認定記念特別
旧軍港舞鶴の歴史や遺跡などを巡り紹介。
RADIO MIX KYOTO (8 月放送) 30 分×1 本
番組名: 森の京都「京北・北山」の魅力発信
京北・北山」の森について「森の京都」をテーマに地域の魅力を取材、紹介。
 - (3) 会員制度改正について
現在の会員制度を見直し、より参加しやすい制度への改正に向け、広く意見集約を行い、
入会金 (10 万円) を廃止する改正案を作成しました。
・入会 5 年未満の正会員へアンケートを実施し会員制度改正についての意見調査を実施。
・会員制度について意見交換会を 12 月 9 日に天性寺にて開催。

<理事会、委員会等の開催と主な審議事項>

第 1 回理事会 (3 月 16 日)

- ・理事長 / 副理事長の選出について

第 2 回理事会 (5 月 24 日)

- ・会員制度について入会 5 年未満の正会員へのヒアリングについて
- ・「FM まいづる」・「FM87.0 RADIO MIX KYOTO」(との 3 局ネットワーク名称について
- ・CBAK による「京都地域メディアネットワーク」への企画提案番組について

第 3 回理事会 (8 月 2 日)

- ・入会 5 年未満の正会員へのヒアリング確認と会員制度改正提案について
 - ・「コミュニティ放送アライアンス京都」の理念について
-

第 4 回理事会 (9 月 27 日)

- ・ 会員制度改正意見交換会について
- ・ 「コミュニティラジオアライアンス京都」による番組制作と料金体制について

第 5 回理事会 (11 月 29 日)

- ・ 会員制度改正意見交換会進行について
- ・ 新局設立役員との意見交換/「コミュニティ放送アライアンス京都」の理念について
- ・ 新規職員採用計画について

第 6 回理事会 (2017 年 2 月 2 日)

- ・ 2016 年度活動の振り返りと今後
- ・ 2017 年職員体制について
- ・ 第 16 回 NPO 通常総会議案について

○三役会議については 5 月～2017 年 1 月 7 回開催

○番組編成委員会

- ・ 6 月～2017 年 1 月 4 回開催

○会員委員会

- ・ 5 月～2017 年 1 月 4 回開催 ※5 月 11 日は三役会議との合同開催
- ・ 毎月第 4 土曜日 20:15～20:30 番組「正会員だより」第 14 回まで放送

○財政委員会

- ・ 6 月～2017 年 1 月 4 回開催

■ 放送事業の概要

1. 番組/スポット等の放送

1) レギュラー番組: 100 本放送中 (内局制作番組: 9 本)

◎番組オーナー申込による 2 局 (RADIO MIX KYOTO/ラジオカフェ) 連携番組 (毎週番組)

- ・ 「Kyoto Space Fountain～きょうと空間創生術～」
- ・ 「本のソムリエ」
- ・ 「京都映画夜話-みなみ会館のちよつときいてな」

2) 主なスポット CM 等の放送:

- ・ 赤十字キャンペーン CM (継続中) ※無料放送
- ・ 共同募金広報 CM (10 月～) ※無料放送
- ・ 月刊誌 LEAF (継続中) ※紙面広告バーター放送
- ・ 第 24 回参議院議員通常選挙 CM ※有料放送 30 秒 CM 80 本

3) 主な局制作番組の放送

- ・ 京都医療福祉ニュース (毎日 4 回)、週間京ことばニュース (週 4 回)
- ・ 地域情報番組「ハロー! ラジオカフェ～おはようさんどす～」(週 1 回 75 分)
- ・ 音楽情報「ミュージックナウ」(月 2 回 21 分)
- ・ 環境番組「環境市民のエコまちライフ」「京都発! 温暖化防止」(週 1 回 15 分)
- ・ 「防災ナウ!」(月 2 回 6 分)
- ・ 24H ホットライン公共情報/スポット (24 時間ランダム放送/放送利用料無し)
「子ども虐待 SOS」(京都市児童相談所) ☆「いのちの電話」(京都いのちの電話)
「ヤングテレホン」京都市警察本部少年課少年サポートセンター
- ・ 音楽放送: ジャズなどの音楽を 24 時間プログラム放送

4) 災害対応 ※京都市内発令避難情報を放送

- ・ 特になし

5) 防災

- ・防災インフォメーションの放送（毎日6回）
- ・「防災NOW!京の消防団-中京区編-」として月2回、ワンマンによる電話収録6分番組を放送開始
- ・スタジオ防災訓練の実施（10回実施）
- ・3月11日「シェイクアウト防災訓練放送」に伴う「災害訓練放送」を実施
- ・12月4日中京区総合防災訓練からの生中継/※放送時間：12月4日午前9時～10時

2. 放送設備の整備

- ・3局ネットワークのためのIPコーデックの整備

3. インターネット放送/配信事業

- ・「サイマルラジオ(Simul Radio)」からの配信(PC向け) 継続
- ・「ListenRadio」からの配信を開始(PC・スマートフォン向け) 継続
- ・番組オーナー向け番組アプリ委託制作(iOS, Android～) 継続
- ・ポッドキャスト配信番組のApple iTunes Storeへの登録 継続

4. 広報活動(ラジオ放送以外)

- 番組表「ラジオカフェ通信」の発行(年4回 各3000部)
- ホームページの運営 <http://radiocafe.jp>
- ソーシャルメディア(Twitter, Facebook等)による情報発信

5. 助成金事業

- 京都府広報課への提案採択番組<京都地域メディアネットワーク>

6. 諸活動/行事

- 番組審議会： 第98回～第107回開催(8月・12月を除き毎月開催)
第100回記念として公開番組審議会「みんなで作ろうラジオの輪」を開催(4月23日)
会場：番組審議委員 ジェフ・バーグランドさん宅 35人参加
- 特定非営利活動法人エフエムわいわい代表理事の日比野純一を招き、放送免許返上のいきさつを聞く会を7月26日開催しました。三役はじめ事務局、監事・番組審議委員ら11人出席。
基幹放送局のあり方について意見交換を行いました。
- 職場体験等の受入れ
 - ・京都教育大付属中学校職場体験学習受入 3月(8年生3人)
 - ・梅津中学校後藤先生チャレンジ体験学習受入 5月(3人)
- 主な地域活動/連携活動 他
 - ・京の三条まちづくり協議会への参加(毎月第1水曜日)
 - ・中京区防災会議への参加
 - ・中京区災害ボランティアセンター運営委員会への参加
 - ・中京区推進協議会への参加
 - ・京都市市民活動センター運営委員会への参加
 - ・京都地域メディアネットワークへの参加

<第1号議案>決算報告

※別紙資料：決算書（活動計算書、貸借対照表、財産目録）

【本年度決算概要】

○経常収支の部

▲収入

◎経常収入：26,115,115円

- ・事業収入：23,137,083円
- ・補助金収入：1,614,311円（京都府地域力再生プロジェクト）
- ・入会金収入：200,000円
- ・会費収入：1,002,000円
- ・寄付金収入：76,517円

▽支出

◎事業費：21,540,700円

◎管理費：3,327,824円（内減価償却費 1,405,065円）

◆当期収支差額：1,246,631円（6期連続黒字）

■資産の部

◎現金預金計：809,054円

◎有形固定資産計：2,877,588円

□負債の部

◎長期借入金（NPO債）発行総額：16,500,000円（今年度2口返済）

○正味財産の部

◇正味財産の部合計：△7,411,933円

【監査報告】

会計監査報告

＜第 2 号議案＞会員制度改正について

正会員制度に関して以下のように改定することを提案します。

(現 行)	入会金	100,000 円	年会費	12,000 円
(改定後)	入会金	廃止	年会費	12,000 円

提案理由

ラジオカフェは開局以来、市民立の放送局として市民メディアとしての体現とまちづくりの中核としての役割を果たそうと努力してきました。会員のみなさんのご協力、番組オーナーたちの情熱やコンテンツ力によって支えられ、地域における存在感とコミュニティラジオ界の中で果たしてきた役割は大きなものがあつたと自負しております。

一方で 2018 年に開局 15 年を迎えるにあたり、これからのラジオカフェのあり方についての議論も理事会として始めてきています。まず 2015 年から議論をしてきたのが、ラジオカフェの根幹でもありません会員制度のあり方です。

この 2 年間、総会、理事会及び会員委員会での真摯な議論と複数回にわたる正会員交流会、番組オーナー交流会などを通じて会員制度のあり方についてオープンな議論を行ってきました。入会金が高いことによって会員になれないという声や、それに伴い、会員構成において、世代の偏りがみられること。女性やマイノリティの会員が極端に少ないこと、番組オーナーの会員比率が低いことなど構造的な問題に改めて目をむけ、議論することができました。

これらの議論を踏まえて、理事会としてラジオカフェは市民メディアとして多様な市民により、闊達な議論とボランティアな運営によって支えられるべきだと考えました。

以上のような理由により、今回入会金制度の廃止を提案します。なお、これまで入会金 10 万円を支払って頂き会員になって頂いた方々は今後、未来永劫「ファウンダー（設立者）」としてお名前をスタジオ内に掲示させて頂くと共に HP などでもご紹介させて頂きます。

また、本提案をお認めいただいた場合には、会員を以下のように位置づけ、会員増の具体的目標とその実現に向けた取り組みを以下のように実行したいと考えております。

- ・会員はラジオカフェの運営や番組制作に関わる幅広い市民によって構成されるように取り組みをすすめる
- ・会費が運営経費の根幹部分（人件費相当等）となるように会員増強に努力する

○15 周年を迎える 2018 年に会員 200 人、2020 年に 300 人規模に正会員を拡大し、財政の基盤を確立します。

○そのため、会員になっていただきたい方に積極的に「ラジオで発信する体験」をして頂く局制作の番組を放送します。「参加」から「会員」へという動線をしっかりとデザインしていきたいと思ひます。

○番組オーナーの皆さんにも会員になっていただくように、工夫を行います。正会員向けに番組質向上につながる講座などを開設し、番組オーナーの正会員化を促していき

たいと考えています。

- 正会員交流会などのコミュニケーションの場をより積極的に創出し、ラジオカフェの理念の浸透やまちづくりの結節点としての役割を果たします。
- 会員増による総会における議論の活性化と実質化をはかります。
- 会員増によって生じる事務コストに関しては、会費自動引落やクレジットカード払などの導入をすすめ、会費徴収にかかる事務コストの低減をはかる工夫を行います。また支払いやすい方法としての分割支払いなども検討していきます。

付随して変更する制度

※ポイント制度

従来のポイント制度は2017年3月31日で廃止とし、新たなポイント付与は行いません。これまでのポイントは有効期限までご利用して頂くことはできます。

新たな会員向けのポイントプログラムなどは改めて理事会にて今後検討を行います。

※放送利用料の会員割引

正会員の放送利用料割引は廃止します。新たに「**ファウンダー割引**」を創設します。割引率などは当面、これまでの会員割引率を適用します。なお、今後も10万円以上の寄付をして頂いた方は「**ファウンダー**」として位置付けることとし、ファウンダー割引を利用できることとします。

<第 3 号議案>事業計画および予算

【事業計画案】

1. 中長期の目標

- ・多様な層の会員の拡大 15 周年となる 2018 年に会員 200 人、2020 年に 300 人規模に正会員を拡大
- ・NPO 債残高の圧縮
- ・ラジオカフェの理念や事業目的の再確認と発信
- ・認知度向上とリスナー増、若年層リスナーの開拓
- ・長期的な視野に立った放送事業の安定性確保のため、職員構成、職員待遇改善等の検討
- ・大規模災害にも対応できる放送設備の安定性、信頼性、品質の向上

2. 今年度の事業計画

- ・会員制度の改正（2 号議案資料参照）

会員拡大に向け会員とのコミュニケーションツールを活用。交流の場としてラジオカフェ店舗との連携をはかる。

- ・3 局ネットワーク「コミュニティラジオアライアンス京都」協定書調印式開催、および 3 局ネットワークによる番組やイベントの企画制作を行う。
- ・ポッドキャストや動画配信パッケージの利用拡大をはかる。
- ・会員及び番組オーナーの交流促進のため、交流事業や番組制作講座を開催し、番組制作者の増加をはかる。

【事業予算案】

1. 概要

- ・新会員制度のもと会員数を150人を目標とする。
- ・前年度並みの放送利用料収入を確保し、コミュニティラジオアライアンス京都の連携効果による番組数増加も見込む。

2. 事業予算書

※別紙予算書をご参照ください。

■人件費

常勤職員4人／非常勤職員2人／嘱託職員1人／アルバイト3人

■固定資産及び減価償却費

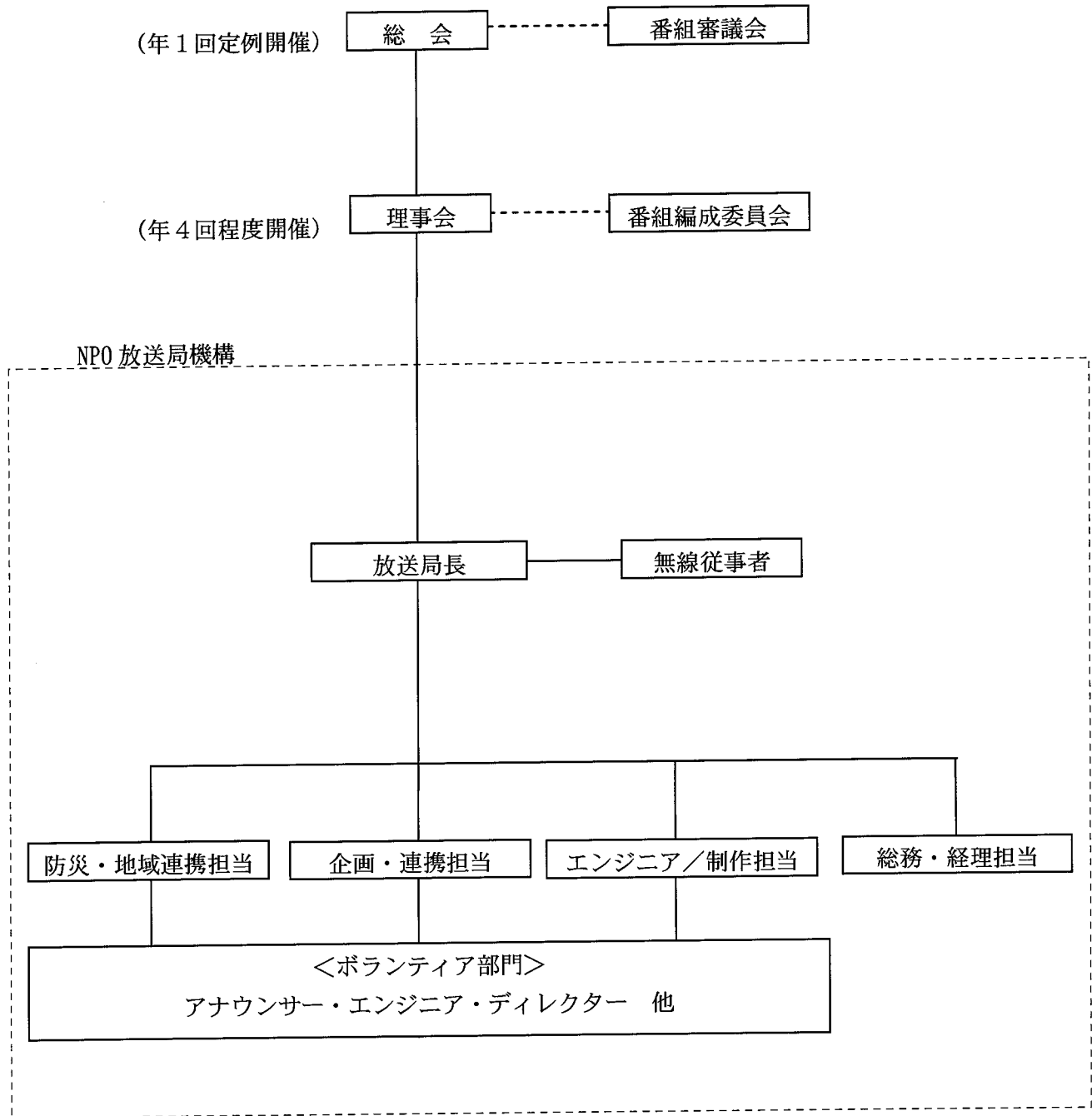
固定資産増加の予定無し

■長期借入金（NPO債）（発行限度額2,200万円/第6期2008年）

現発行残高1,650万円以内とする。

以上

NPO 京都コミュニティ放送 基本組織図



改定

2015 年 2 月 5 日：防災・地域連携担当、企画・連携担当、総務・経理担当等を追記、変更